

オンライン診療に関するインタビュー調査のまとめ

第12回オンライン診療の適切な実施に関する指針の見直しに関する検討会

参考資料
6

令和2年11月13日

オンライン診療を行う医師の意見(概要)

診断・治療に関するもの

厚生労働科学特別研究「新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえたオンライン診療の対応やその影響についての研究」の情報等を元に医事課作成

- 急性腹症は、触診とかじやないと分からない。自信が持てない。
- 喉の痛みは難しい。今のスマホでは映像で喉が赤いのを診るところまでは難しかった。
- 普段の対面診察で病院に紹介するのと同じように、対面診療が必要なケースは、対面に切り替えればいい。
- 既往歴、内服薬、体温や血圧等、患者さんからの情報をいただく必要がある。
- 電話の初診というのは、無理だと思う。
- 継続した治療が必要になると、患者との距離があまり遠いと、ちょっと来てくださいといったときには問題になる。
- 特定疾患以外でも、経過が慢性的な疾患であれば、オンラインで十分できる。

医師－患者関係に関するもの

- 初診のオンライン診療は、診断には難渋するものの、ファーストコンタクトを取るという意味では大きな意味がある
- 患者は、突然見ず知らずの会ったこともない医師よりは、会っていい医師と分かっている医師にかかるだろう。
- オンライン診療では、付き添いがいない場合もあり、プライベートなことを含め、患者は対面よりも話しやすいようだ。
- 初診がオンラインで、再診で対面を必要とする場合に、その必要性を十分に説かないと、再診に繋がらないのではないかな。
- 対面診療の必要性を納得してもらえれば、対面診療への移行はスムーズにいくのではないかな。

その他

- もう少しコストが安くできるようになればいい。
- オンライン診療の対応は普段よりも煩雑であるため、これ以上患者が増えても対応が難しい
- 初診でオンライン診療を希望する患者は、地理的・時間的に病院に行くことが不可能な方あるいは心理的に敷居が高いと感じている方、このどちらかだと思う。
- コロナ以前、オンライン診療は月に10人以下程度だったものが、4月になって、急に60人近くに増え、それから月に60人程度が続いている。
- オンライン診療により、服薬アドヒアランスが上がると思う。
- オンライン診療により、高齢者にとっても、高齢者の家族にとっても、通院の負担が軽減される。

オンライン診療に関するインタビュー調査のまとめ

オンライン診療を利用する患者の意見(概要)

オンライン診療の受け止めについて

厚生労働科学特別研究「新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえたオンライン診療の対応やその影響についての研究」の情報を元に医事課作成

- 長年同じ症状と付き合っているため、オンライン診療で問題ない。ただ、新しい症状があったら対面じゃないと怖い。画面越しなので、ちゃんと診てもらいたい人は、オンライン診療を避けていると思う。
- 風邪や花粉症等、あまり大事ではない場合はオンライン診療を選ぶ。
- 喉の腫れなど、画面越しでは診づらい症状は、医師の判断も曖昧で、困っていたと思う。
- 軽い胃痛や、熱発がないときの咳など病院には直接行きたくない場合は、オンライン診療でもいいと思う。
- 症状が強い時は動くのも辛いので、オンライン診療は便利だと感じた。
- 病院は予約しても待ち時間が長い。そういう意味では、オンラインは待ち時間がないので、大変便利。
- 1時間だけだったら空けられるような日に、予定と予定の間に診察の予約入れられるのは便利。
- 両親に持病があり、自分も喘息がある。病院へ行くことで親に移してしまいそうで怖い。なので、オンライン診療は助かる。
- オンライン診療により、利用者にとっても、利用者の家族にとっても、通院の負担が軽減される。

医師との関係について

- かかりつけ医の提案を受けて、発熱の際にオンライン診療を受診した。
- 県内のクリニックをインターネットで探した。できれば何回かに1回は直接対面で診察と説明されたが、ひとまず初診から2回ほどオンラインで診療を受けた。この間、初めて直接伺い、3回に1回ぐらいは対面だと説明された。
- オンライン診療についてのメリット・デメリットについての説明は特には聞いていない。
- オンライン診療でもよく説明してくれるので、受診は継続したい。
- 先生と以前から信頼関係があるからオンラインでも安心して受診できるが、信頼関係がなければ不安だと思う。

その他

- 手続きは分かりやすかったが、親世代の高齢の方には使いこなせないのではないかと。(注:話者は20~40代)
- 対面と比較すると金額が高い。明細書で、通信料として1回1,000円~2,000円程度かかっていた。
- 特に症状で辛いときには、薬も当日にもらいたい。食品の宅配サービスのようにできるのでは。
- 発熱があり、受け入れてもらえる医療機関がなかったため、オンラインを利用した。